

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座 教授
氏名 Name	古川裕
専門分野 Academic Field	中国語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代中国語の認知言語学的研究・日本における対日本人中国語教育
<p>以下の研究成果を公表した。</p> <ul style="list-style-type: none">□ 日本の大学生の中国語学習動機づけー全国 6 言語アンケート調査に基づく量的分析ー (王松・古川裕・砂岡和子共著, 『中国語教育』第 14 号, 中国語教育学会, pp. 103-126, 2016 年 3 月 31 日)。□ “左 VP 右 VP” 対挙格式的語法化 (王峰・古川裕共著《汉语学习》2016 年第 6 期, pp. 36-44)。□ 从句法词看词法和句法之间的互动现象 (『杉村博文教授退休記念中国語学論文集』, pp. 69-84, 白帝社, 2017 年 3 月 10 日)。 <p>以下の学会発表・招待講演を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">□ 華語的表述特點及其教學對策、在外漢語教學所需要的教學語法 (華語教學專題演講, 輔仁大學跨文化研究所, 2016 年 3 月 15 日)。□ 在日漢語教學の歴史和未來課題 (台灣師範大學應用華語文學系, 2016 年 3 月 17 日)。□ 汉语的对举形式探讨 (Keynote Speech on Chinese Language Teachers' Federation of Australia 22nd National Conference, Queensland University of Technology, Brisbane, 2016 年 7 月 10 日)。□ 关于日本大学统考汉语试题的思考 (桜美林大学孔子学院中国語教員研修講演, 2016 年 7 月 30 日)。□ 从教学角度看汉语的对举现象 (関西外国語大学孔子学院中国語教員研修講演, 2016 年 8 月 3 日)。□ 从汉日对比角度看汉语的对举现象 (第八届汉日对比语言学研讨会大会发言, 延边大学, 2016 年 8 月 21 日)。□ 从语法、语义、修辞的角度看汉语的对举现象 (修辞创造与汉语的发展演进国际学术研讨会, 大连理工大学, 2016 年 9 月 11 日)。□ 汉语的对举形式研究 (Second Harvard International Conference on Chinese Pedagogy: Innovating Traditions, Harvard University, 2016 年 9 月 24 日)。□ 日本国立大学日语预科教育ー以大阪 (外国语) 大学为例 (全国来华预科教育专家论坛, 北京语言大学预科学院, 2016 年 10 月 26 日)。□ 从在日汉语教学的角度看汉语的对举形式 (第 8 届亚太地区国际汉语教学学会年会大会报告, 北京语言大学汉语国际教育学部, 国际汉语教学研究基地, 2016 年 10 月 30 日)。□ 汉语的表述特点及其教学对策 (华东师范大学国际汉语教学研修基地, 2016 年 11 月 23 日。上海外国语大学, 2016 年 11 月 24 日。延世大学中国学论坛, 韩国首尔, 2016 年 12 月 9 日)。	